

■ シンガポール親善交流使節団（ミャンマー国及びシンガポール）来校

11月25日(金)～11月28日(月)

昨年に引き続き、ミャンマーとシンガポールから親善使節団が来日し、4日間、本校生徒との異文化相互交流を行いました。今年の使節団は14歳から22歳までの14名で、この日から本校の中学生の各家庭にホームステイをして、日本文化を堪能したようです。

25日の2時間目に、高校2年生全員で歓迎セレモニーを開催しました。吹奏楽の演奏に始まり、生徒会長による歓迎の挨拶、ダンス部のダンスや書道部による書道パフォーマンスなどを披露しましたが、ミャンマー・シンガポールの生徒や学生の皆さんも、大喜びでした。最後には、手を振り合うなど、心温まる交流ができたようです。





生徒会長 濱上さんが「歓迎のあいさつ」を行いました。その横で、台湾からの本校留学生であるアキくんが英語で通訳をしてくれました。グローバル化の波が、すでに自分たちの身近に押し寄せてきていることを実感した生徒もいたようです。





私たちからの歓迎を受けて、ミャンマー・シンガポール使節団の皆さんも、事前に準備してきた「友だち」という歌を披露してくれ、温かい交流活動となりました。



最後の書道部のパフォーマンスにも、皆、驚いたようです。動画を撮ったり、手をたたいたりして感激していました。



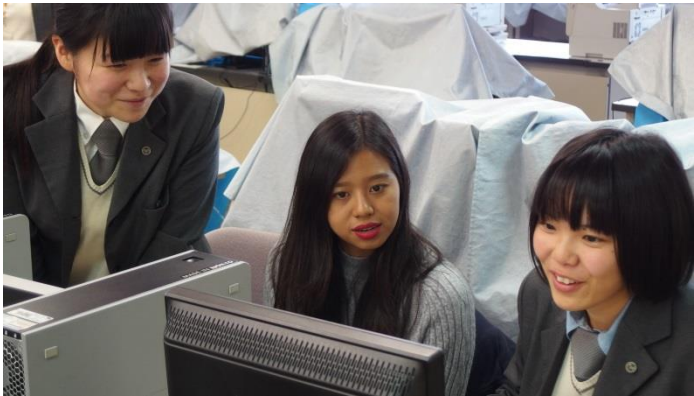
3時間目は書道体験です。普通科の高校生の中に入って、書道を体験しました。使節団の学生や生徒たちからは、宮崎学園の生徒たちから、とても親切にいてないに教えてもらいうれしかったという声が聞かれました。





4時間目のパソコン体験では、経営情報科の3年生がユーモア溢れるワークショップをしてくださいました。手振り身振りをまじえた英語を駆使して、楽しくコミュニケーションを図っているようでした。最後には、自分で作ったオリジナルのうちわを手にして、皆うれしそうでした。





昼食会では、ホームステイ先の中学生とボランティアの高校生と一緒に食事をしてくれました。最初は緊張からぎこちない様子でしたが、すぐに打ち解けて会話も弾んでいたようです。



5校時は礼法授業の体験です。特進科の2年生と一緒に、茶道の授業を体験しました。慣れない正座に苦労しながらも、お茶とお菓子をじっくりと味わっていました。本校生徒のお手前もなかなかの腕前です。







放課後は、剣道場で武道体験を行いました。剣道部員の迫力に圧倒されながらも、見よう見まねで竹刀を操る姿が微笑ましかったですね。日本映画で見るサムライのイメージから、刀のように振り回す姿もありましたが、和気あいあいとした楽しい時間を過ごせたようです。









このあと、ホームステイ先の中学生と一緒にそれぞれの家へ向かいました。金・土・日と、各家庭での交流を思う存分楽しんだあと、日曜日の夜にお別れパーティーが行われました。





使節団のみなさんが日本を去る日は、期末テストの初日と重なり、昨年のように盛大なお別れセレモニーはできませんでしたが、ささやかに校長先生のあいさつ、ビデオ上映、記念品を渡して見送りました。

“See you next year!”という声を残して、バスに乗り込み、一行は学校を出発しました。その後も、ホームステイ先の中学生とのメール交換や電話などを通して、交流は続いています。来年を待ちきれずに、こちらから会いに行く生徒もできそうです。この芽を大切に育てていってほしいと思います。